

食道癌に対する癌化学療法 と放射線療法併用における入院期間延長因子の探索研究

1. 研究の対象

2015年4月～2017年5月に当センターで食道がん化学療法と放射線療法を併用して受けられた方

2 研究 目的・方法

研究目的

当センターにおいて食道癌に対し、がん化学療法（フルオロウラシル+シスプラチン）と放射線療法を併用した際、入院期間が延長していると報告があった。原因は食欲不振と考えられているが、診療記録や検査値などのデータを調査されていない。そこで今回、診療記録や検査値などを用いて レトロスペクティブに調査・分析を行い、入院期間延長となる因子を探る。

対象患者ががん化学療法と放射線療法を受けるため、入院している期間に登録された診察記事を用いて、副作用の表す言葉を抽出し、言葉の出現頻度を調査し、fisher正確確率検定などの統計的手法を用いて分析を行う。

研究期間

承認を受けた時点～2020年3月31日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：患者 ID、患者名、年齢、性別、診療録、処方薬、抗がん剤治療歴、入退院日、検査値（血清クレアチニン、CCR、eGFR）、手術歴

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

大阪国際がんセンター 薬局 研究責任者 岩西 雄大

住所：〒541-8567 大阪市中央区大手前3-1-69 電話：06-6945-1181